

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第297回

ルシル・ボール

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年3月7日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

I'd rather regret the things
I've done than regret the things
I haven't done.

やった後悔より、やらなかった後悔の方が大きいわ。

ルシル・デジレ・ボールは、アメリカのコメディアン、モデル、映画およびテレビの女優、映画会社の重役。



Column

今月は卒業シーズンですが、そんな時にぴったりの言葉だと思います。この言葉に出会った時に私は『現在の自分の答え合わせをしましょう！』と言われているような気になりました。卒業生のみなさんは正智深谷高校で過ごした時間に対してどのように感じていますか？1・2年生は次の1年に向けてどのように感じていますか？私の中では今回の言葉にある“やった後悔”というものはありません。失敗だったと感じていたとしても、それは今後に向けた“データ”として確実に自分の糧となるものだと考えているからです。そして“やらなかった後悔”というものもありません。実際に今の私が抱いている目標や挑戦してみたいことの全てが既に取り組んでいるということではありませんし、これまでもやってみたくて思いつつやらなかったことはあります。しかし、それについては『必ずやる』という気持ちがありますので“まだ始まっていない”という認識です。

私が後悔していることは、“やれなかった（できなかった）”ことです。“時間制限に間に合わなかった目標”という表現が正しいのかもしれませんが。例えば、みなさんと同じ高校時代に達成したい目標に届かなかったことも後悔のひとつです。スポーツに携わってきた私は“インターハイ出場”などがそれに挙げられます。今思えば“もっともっと努力していれば…”と思う部分がたくさんあります。『人生はいつでも取り返しがきく』と励まされたことが何度もありますが、時間制限があるものはやはり簡単ではないと痛感しています。ですからみなさんには将来の大きな目標を掲げた中で今できること、やらなければいけないことを『準備』として全力で取り組んでほしいと願っています。

先に述べたように『今思えば…』という感覚は『成長した今の自分なら…』という部分がかなり大きいと感じています。そういう意味では今回の言葉の通り、残念ながら“やってもやらなくても達成できて後悔することはある”ということです。今回の言葉は非常にリアリティーがあると感じます。私自身もスポーツの指導の中で“本番で後悔しないために”という言葉を使いますが、優勝しても後悔（課題）はあるわけです。私は『完璧な人間』は存在しないと考えています。完璧を目指す道のりが重要なのです。自分を豊かにするためのトライは何度でもやっていきましょう！